

# 地域教育推進ネットワーク東京都協議会の活動

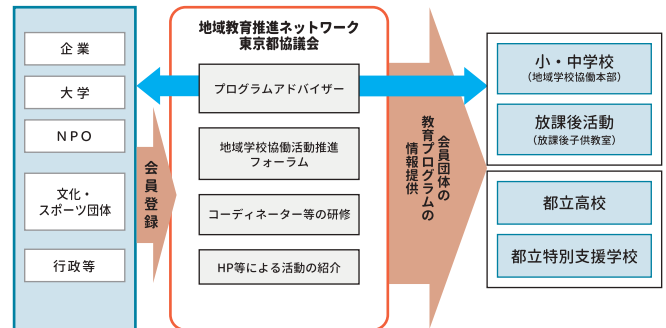
これまで、小中学校で活用している教育プログラムをいくつか紹介してきました。企業やNPO、公益法人等、様々な団体が教育プログラムを作成し、HPや広報誌等で紹介しています。

東京都では、都内広域の企業やNPO等とのネットワークを作り、企業やNPO等の専門的な教育力を学校内外の子供たちの教育活動につなげる仕組みとして、「地域教育推進ネットワーク東京都協議会」(以下「ネットワーク協議会」という。)を設置しています。

## ■新たにプログラムアドバイザーを配置

「社会に開かれた教育課程」の理念を実現するためには、学校教育の中で、地域住民や企業等、学校外の社会資源と連携した体験活動を実施することが重要なポイントとなります。

ネットワーク協議会では、これまでの機能を見直し、小中学校と企業等の外部資源をつなぎ、教育プログラムの効果的な活用を進めるために、教科学習分野、キャリア教育分野の「プログラムアドバイザー」を新たに配置することになりました。プログラムアドバイザーは、学校等の要望に応じて、必要な助言をしていきます。



## ■地域や企業等とつながる授業づくりのヒント

ネットワーク協議会では、今年度のフォーラムのテーマを「地域学校協働活動※の推進」として、多彩に展開している各地域の活動に学び、学校関係者と企業等が今後の連携・協働の在り方について共に考え合う場として開催します。小学校、中学校の特色ある取組を学ぶことを通じ、地域や企業等とつながる授業のヒントが得られます。ぜひ、御参加ください。

### 「地域学校協働活動推進フォーラム2018」

日時 平成30年12月8日(土曜日)午前10時30分から午後4時15分まで

会場 都庁第一本庁舎5階 大会議場

フォーラムの詳細と申込みについては、ネットワーク協議会のHPを御覧ください。

東京都 ネットワーク

検索



## 部活動推進統括コーディネーター事業

プログラムアドバイザーの分野の一つに、部活動支援があります。部活動は、教育課程外の活動ですが、学校の教育活動として大きな役割を果たしている一方で、教員の負担軽減の在り方や、担当する種目が未経験の教員による技術指導の難しさ、教員の異動による部活動の存続等の様々な課題が指摘されています。

東京都では、今年度から都内2地区で「部活動推進統括コーディネーター」事業を実施しています。東京都が委託した部活動推進統括コーディネーターが、部活動を支援する人材の発掘や関係団体等とのネットワークづくりを行い、地域で部活動支援が継続して行われる仕組みを作っていきます。

### ココがポイント↓部活動支援でも地域との連携を推進

スポーツ庁が平成30年3月に示した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に基づき、東京都教育委員会は「運動部活動の在り方に関する方針」を4月に策定しました。生徒にとって望ましいスポーツ環境を構築するという観点に立ち、適切な運営のための体制整備、合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進のための取組、適切な休養日等の設定等について示したものです。

「地域との連携等」の項目では、「学校や地域の実態に応じて、地域のスポーツ団体との連携、保護者の理解と協力、民間事業者の活用等による、学校と地域が共に子供を育てるという視点に立った、学校と地域が協働・融合した形でのスポーツ環境整備を進める。」としています。

※「地域学校協働活動」・・・地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動(文部科学省HPより)